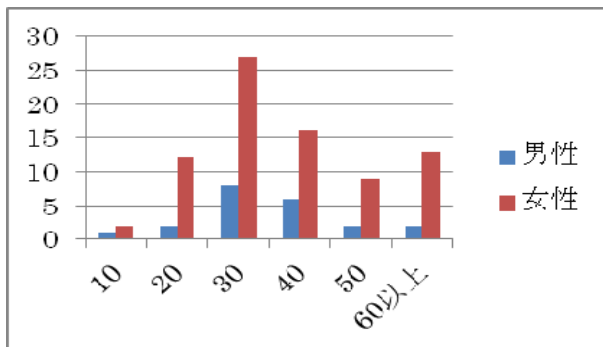


開院20周年記念講演会、無事終わりました。

去る12月8日（日）に県立博物館・美術館で「よくわかる食物アレルギー」というタイトルで講演会を開催しました。クリニックの掲示板、新聞広告、インターネットなどから情報を得て、120名の方が参加されました。15分の休憩時間を含む2時間以上の講演にもかかわらず、皆さん熱心に聞かれていましたので主催者側としては内容がある程度伝わったのではないかと理解しております。



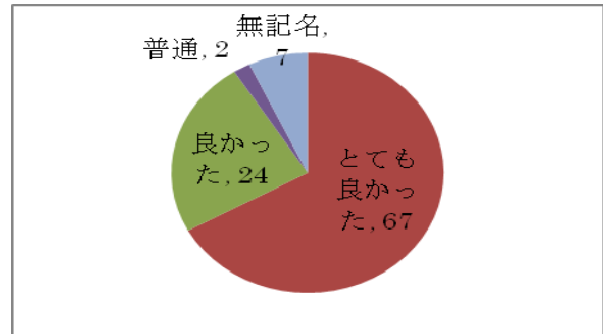
終了時に今回の講演会についてアンケートを実施しましたが、101名の方から回答をいただきました。実に回答率84.1%でした。



男性21名、女性79名（1名不明）で、30代の女性が一番多く、食物アレルギーの児

をもつ母親や保育士さんが多かったように思います。60代以上の方も参加されていましたが、お孫さんの事か園長先生のお立場で食物アレルギーについて勉強しに来られたと思います。

講演会の内容の評価は「とても良かった」と「良かった」を合わせて91%の方が高い評価を下さり、「悪かった」「とても悪かった」が0名でしたので講演者としては安堵しております。「普通」と答えた人は10代の方で、ちょっと難しい内容だったかなと思います。



一番興味を持たれた話しは、やはり「衛生仮説」でした。不潔にした方がアレルギー体質になり難いという事です。3秒ルール「落ちた食べ物はフーフーして、すぐ口に入れる。」それによって、腸内細菌叢の菌数が豊かになり、免疫が高まります。また、抗生剤を頻繁に服用することによって、逆に腸内細菌叢が貧弱になり、免疫が落ちていくという話です。その他、添加物などの話にも興味を持たれた方が少なくありませんでした。次回の講演会には、「食物アレルギーの発症とその背景について」を考慮したいと思っております。（たまなは）